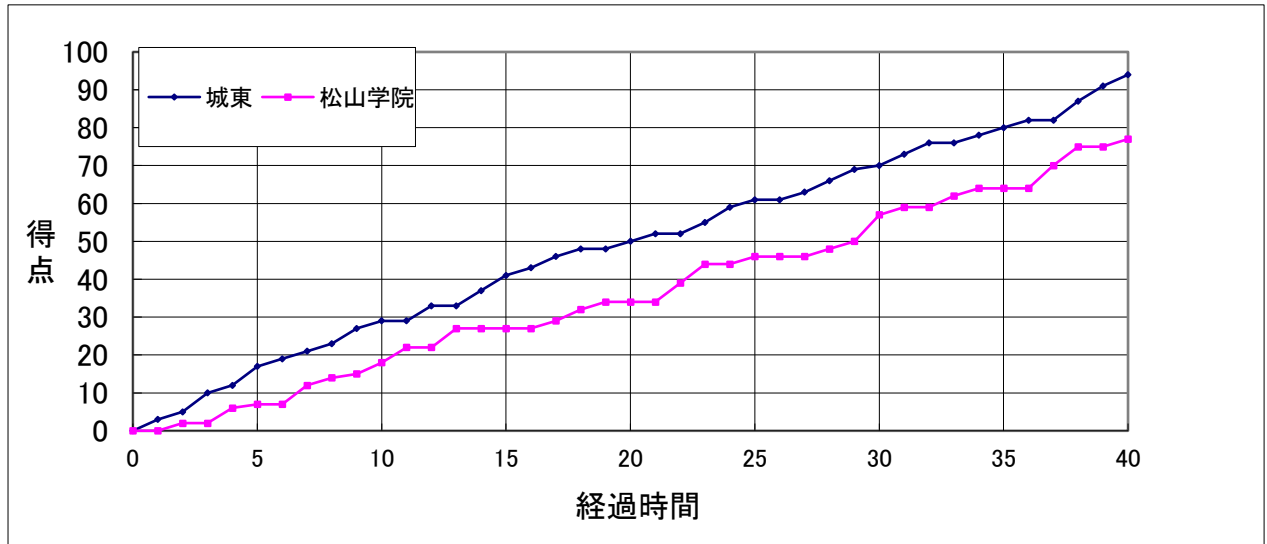


大会名	第76回四国高等学校バスケットボール選手権大会	A1	10:30	男子準決勝															
		城東 94 (徳島県) ○	<table border="1"> <tr><td>29</td><td>—</td><td>18</td></tr> <tr><td>21</td><td>—</td><td>16</td></tr> <tr><td>20</td><td>—</td><td>23</td></tr> <tr><td>24</td><td>—</td><td>20</td></tr> <tr><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr> </table>	29	—	18	21	—	16	20	—	23	24	—	20	—	—	—	77 松山学院 (愛媛県) ●
				29	—	18													
21	—	16																	
20	—	23																	
24	—	20																	
—	—	—																	
期日	2023年(令和5年)6月18日(日)																		
会場	高知県春野総合運動公園体育館																		

主審 薦田 侑二郎 副審 大西 空 原 遼大



城東

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 井川 慶音 (C)	12	1	2	5	3
5	* 田中 翔和	26	0	12	2	3
6	* 長倉 安里	13	1	4	2	0
7	* 西尾 悠也	32	0	13	6	1
8	中海 聡太	0	0	0	0	0
9	入江 愛斗	2	0	1	0	2
10	井原 一翔	0	0	0	0	0
11	坂野 有	0	0	0	0	0
12	* 浜田 煌介	8	1	2	1	2
13	國本 琉生	-	-	-	-	-
14	岡本 陽弘	-	-	-	-	-
15	鈴江 祐馬	-	-	-	-	-
16	橋本 翔太	-	-	-	-	-
17	阿部 拓実	-	-	-	-	-
18	西原 優翔	-	-	-	-	-
コーチ 泉 直哉						
合計		93	3	34	16	

松山学院

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 薦田 陽春 (C)	22	2	7	2	5
5	* 武村 青空	8	0	4	0	3
6	* 宮田 嵩	10	0	5	0	4
7	* 眞鍋 大暉	8	1	2	1	2
8	芳野 航大	0	0	0	0	3
9	菊池 權	3	1	0	0	1
10	山口 碧仁	-	-	-	-	-
11	林 聖都	-	-	-	-	-
12	畔地 智哉	9	1	2	2	4
13	* 合田 歩未	17	3	4	0	1
14	中井 泰輝	-	-	-	-	-
15	向井 優翼	-	-	-	-	-
16	小田 一心	-	-	-	-	-
17	忽那 煌希	-	-	-	-	-
18	山本 大成	-	-	-	-	-
コーチ 岡田 健佑						
合計		77	8	24	5	

*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル

戦評

第10 両チーム共にマンツーマンディフェンスでスタート。開始早々、城東高校は#12の3ポイントで先制。対する松山学院は#4を中心に攻撃を展開していく。高さのある城東高校はゴール下で#5と#7がリバウンドから確実に得点を重ねていくのに対し松山学院は#7の個人技で対抗し27-18で終了。

第20 追いつきたい松山学院はディフェンスの強度を上げプレッシャーをかけていく。少しずつ流れを引き寄せ#4、#5の連続得点で33-27と喰らいついていくが、高さを生かした城東高校がディフェンスリバウンドから速攻を繰り出し10-0のランで43-27とリードしたところで松山学院がタイムアウト。タイムアウト後も松山学院は攻撃の糸口が掴めずターンオーバーが続く間に城東高校は#5、#7のポストプレイ、リバウンドから得点を重ね、50-34で前半終了。

第30 前半同様プレッシャーをかけ続ける松山学院は#13、#9の連続スリーポイントで一気に流れを引き寄せるが、城東高校は慌てずゴール下で得点を重ねていく。松山学院も譲らず一進一退の攻防が続くが確実に得点を重ねた城東高校が69-57と12点差で終了。

第40 松山学院は#4、#6を中心に攻撃を展開し、得点を重ねていくが、高さに勝る城東高校がディフェンス、オフェンスともにリバウンドを押さえ、確実に得点を重ねる。松山学院も最後まで戦い抜いたが94-77で城東高校が勝利し、決勝進出を決めた。

記者者 竹内 大博 (所属) 高知県高体連